

# 安全衛生 あれこれ

増田労働衛生コンサルタント事務所  
所長 増田稔久

53

もし安全が高くつくと思うなら、  
事故を起こしてごらん！

日本の製鉄会社によるU.S.スチール社買収の今後の成り行きが日米の注目を浴びています。U.S.スチール社と言えば「安全第一」のはじまりの企業であり、関心をもって見守られている方も多いでしょう。今月は全国安全週間の準備期間でもあり、改めて、安全第一の物語を厚労省のWEBページから探り紹介します。別掲1の掲載元は、平成23年2月にまとめられた「化学工業における元方事業者・関係請負人の安全衛生管理マニュアル」の「安全第一の徹底」(6ページ)

の項でした。

そこには、更に「経営トップで最も重要なことは、安全第一の姿勢を明確に示すことである。安全第一の徹底は、安全、品質、生産に関する判断の優先順位を組織内に明確に示すことである。すなわち、安全確保のためには、生産性の低下・スケジュールの遅れ等があっても、安全最重視の判断を行うことを明確に示すことである」とトップの安全姿勢の在り方を明確に示しています。トップの関心のないことに組織は励みませんから、当然のことで

(別掲1)

## 「安全第一」のはじまり

「安全第一」は1906年U.S.Steel社のゲーリー社長によって提唱された経営方針であるが、それまでの「生産第一、品質第二、安全第三」の方針を「安全第一、品質第二、生産第三」の方針に改めたものである。

周囲の反対を押し切って新しい方針を実施に移したところ、災害が減少したことはもちろんであるが、製品品質も大幅に改善され、生産高も向上した。

注：厚労省WEBから引用(以下同じ)

(別掲2)

## 事例：安全憲章

カンタス航空は1951年以降死亡事故を起こしていないが、同社のフライト・オペレーション・マニュアルには「Safety Before Schedule」とあり、機長の運行上の全ての決心はこの安全憲章に基づいてなさねばならないと記載されている。

経営としての価値判断を明確に示すことによって、機長のジレンマを解消している。

「もし安全が高くつくと思うなら、  
事故を起こしてごらん！」

あり重要なことです。ところで、U.S.スチール社の製品であるレールが定光寺の愛岐トンネル群において、今でも落石防止柵として第二の余生を送っています。このレールに同社のカーネギー製鉄所の刻印が残されています。施設の開放の機会に訪ねご覧ください。

さて、同マニュアルには「カンタス航空の安全憲章」(別掲2)も紹介されています。ここには「事故を起こしてごらん！」と衝撃的なコメントも記されています。皆さんの会社には、安全憲章が定められていますか? 「納期、工期のビフォア(前)に安全です！」と本週間に向けて、整備されることをお勧めします。

蛇足ですが、ハリウッドの2大スター「ダスティン・ホフマン」とトム・クルーズ」が共演した映画「レイマン」があります。1988年に公開されアカデミー賞等を受賞した名作です。この作品でカンタス航空の安全運航が評判となったのです。ホフマンが演じる主人公は、飛行機を怖がり、事故歴のないカンタス航空の飛行機しか乗らないと大騒ぎを起こします。大好きな映画の一つです。詳しくはレンタルビデオ等をご覧ください。